

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		大崎広域ほなみ園					公表日	令和8年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	3		・発達支援室は、各クラス約40㎡であり、基準はクラス10人編成で1人当たり2.47㎡のため広さは確保されている、現状のスペースを工夫して療育活動を行う。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	4	・登園人数に合わせて調整しながらも、無理のない配置を心がけている。 ・園児の登園人数を見て体制を整えている。	・職員の研修や休暇、園児の状況等により目と手が不足していると感じている職員がいる。配置基準は満たしているが、安全に療育ができるよう職員の配置数を都度検討し対応している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16	3	・視覚からでも分かりやすい表示をするなどして対応している。	・園児の状況に配慮し施設設備など工夫して対応する。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	17	2	・毎日職員が園内や玩具を消毒し、清潔を保っている。	・収納スペースが狭く、物があふれてしまっているが、配置を工夫し衛生管理の徹底に努める。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	7	・基本的には、集団療育として活動しているため、個別の部屋はないが、室内をパーティションで区切るなどして、園児の状況に合わせた療育を提供している。	・相談室や遊戯室があるが、感染対応や会議等で使用していることもあり、常にその環境が確保できない。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	19	0	・行事や事業のたびに振り返りをし、全職員で広く共有している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	0	・保護者の声にはその都度対応している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	1	・職員会議や運営会議、各部会ごとの話し合いなどを行い、全体で把握できるようにしている。改善が必要な時は、都度対応している。	・意見を述べる機会はあるが改善までには至らないと感じている職員がいる。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	5		・第三者評価については、検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	19	0	・施設にあった研修を多く設定している。研修に参加するため、職員配置を変更し受講しやすい環境を整えている。 ・職員の資質向上を目的とした研修に加え、他事業所の見学も行っている。			
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	19	0	・組合ウェブサイトで公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	19	0	・家庭での様子を詳しく聴き取りし、園児の様子にあった目標設定に努めている。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	19	0	・児童発達支援管理責任者とともに担任や関係職員と連携し、作成に努めている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	19	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	19	0				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	19	0				

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18	1	・担任や関係職員で連携して取り組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	1	・日々の活動が固定化することのないようにクラス担任で話し合い、登園状況や個々の発達状況に合わせた内容を検討し、いろいろな活動を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	19	0	・集団での約束事やルールの理解、個別の教材等での指先を使った活動や言語理解等、個々にあった計画を立案している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	19	0	・全職員が各クラスの支援内容が分かるように職員室のホワイトボードに記載している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	19	0	・個別のケース記録をとり、園児一人一人の成長の様子を追いながら次の支援策を考えている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	19	0	・日々のクラス日誌、ケース記録で様子を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	19	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	19	0	・必要に応じて看護師も参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	19	0	・必要に応じて医療連携シートを作成し、通院時に主治医へ提出している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19	0	・併行園との連携会議を行っている。また、月に1回程度情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19	0	・就学前に学校見学や交流会が開かれているため理解が深まっていると思う。 ・小学校、特別支援学校への就学前に引き継ぎを行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	19	0	・他の施設と交流会があるため情報交換を行っている。 ・地域の児童発達支援管理責任者が集まり、連携会議や事例検討会を行っている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	19	0		
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	19	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	19	0	・近隣のこども園や障がい者施設の子供たちと交流をしている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	19	0	・連絡帳や電話で細めに連絡を取り合い、共通理解を図っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	18	1	・親子行事をとおして家族への研修も企画している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	19	0	・丁寧な説明を心がけ、文書等で周知に努めている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	19	0	・保護者の方針に寄り添った個別支援計画が立てられているため支援の仕方を統一している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	19	0	・丁寧な説明を心がけている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	19	0	・必要な家庭には通院の付き添いや家庭訪問など、担任や相談支援専門員が細やかに配慮している。 ・保護者がいつでも容易に相談できる環境づくりに努めている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	17	2	・きょうだいに参加できる行事を開催した。	・保護者同士の関係性が希薄になっているため、連携を深める支援を検討する。 ・きょうだい同士で交流する機会は設けていないが、感染症の流行状況や職員体制等を勘案しながら、検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	19	0		・入園時の契約や重要事項説明の中で丁寧な説明を心がけ、保護者が気軽に相談できる関係性の構築・維持に努める。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	19	0	・アプリの使用で迅速な対応が可能になった。 ・ウェブサイトや広報誌をとおして保護者や地域への発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19	0	・児童発達支援利用時の契約や重要事項の説明の中で同意を得ている。 ・個人情報の管理体制を強化し、安全安心の確保に努めている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	19	0	・絵カードやイラストを用いて、意思疎通を図っている。 ・保護者に渡す文書は、やわらかい表現を使う等、わかりやすいものにするように心がけている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	19	0	・地域の催しでは、園児の作品を展示することで参加している。 ・今年度地域住民との交流を図る行事を行った。	・地域住民を参集した場合、職員体制や危機管理の徹底を勘案しながら、行事等の開催を企画する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19	0	・様々な災害を想定した訓練を定期的実施している。 ・保護者には訓練の実施後にアプリを使用し、周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	19	0	・業務継続計画を基に、非常災害の発生に備え訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	19	0	・児童発達支援管理責任者や相談支援専門員による保護者への聞き取りをしている他に、必要に応じて通院した際の服薬や予防接種の有無を確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	19	0	・アレルギー対応マニュアルを備え、対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	17	2	・安全計画を基に、必要な研修や訓練を実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	1		・どういった場合がヒヤリハットに該当するのか、職員間で共通理解が図られていないため、職員研修の実施を検討していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	19	0	・グループワークで様々な意見や考えを知る機会を設け、共通理解を図り、職員の資質向上につなげている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	19	0	・保護者に事前に十分説明をし、了解を得たうえで実施している。また、併せて個別支援計画に記載している。		